CONTENTS

No.263　2020年8月号　草月指導者連盟機関誌

Newsletter

01 Keep Right on Talking! No.71

03 One Two Step ⑳

04 Sogetsu Textbook 5 Q&A
Key word “Materials”

05 The members’ site for the Sogetsu Teachers Association (STA)

07 Information

2 だから、おしゃべりはやめられない　第71回

4 家元とHANASO! on Instagram

6 第102回草月いけばな展出品者募集

8 草月指導者連盟メンバーズサイトが、オープンしました。

10 百花万葉

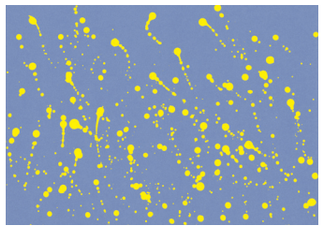
18 勅使河原茜の花「夏から秋へ」

22 没後20年企画　勅使河原宏の言葉と花③

24 レビュー　家元研究科／座・草月「七夕装飾 in Sogetsu PLAZA」／ローズオードパルファム装飾

26 インフォメーション　本部教室／草月WEST

32 カレンダー



表紙・画＝勅使河原茜
表紙デザイン＝ N.G.inc.
印刷＝東洋紙業株式会社
制作協力＝丸紅紙パルプ販売株式会社

発行日＝ 2020 年 8 月 3 日　編集・制作＝草月文化事業株式会社 出版部 編集制作室　発行＝一般財団法人草月会
〒 107-8505 東京都港区赤坂 7-2-21　TEL ＝ 03-3408-1154　FAX ＝ 03-3405-4947　E-mail ＝ members@sogetsu.or.jp

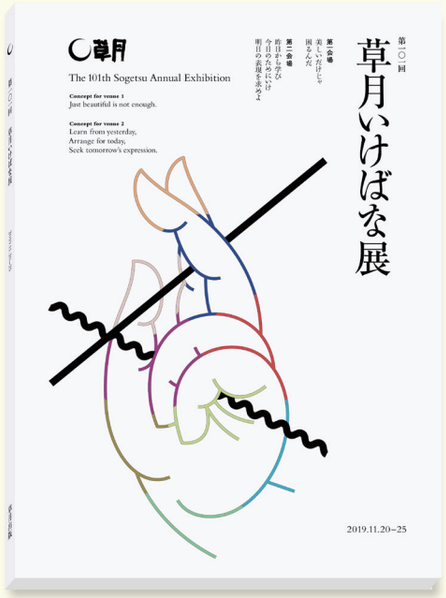
第一〇〇回 草月いけばな展
花賛歌
好評発売中

2019年3月に日本橋髙島屋で開催された草月いけばな展「花賛歌」。本書では865名による781作品を収録しています。会場で投映された、いけこみ時の写真も掲載で見応えたっぷり！

本体価格：4,950円（税込）
Item No. B8100
サイズ：214×290mm
ページ数：144ページ

お待たせしました！ 草月いけばな展・全作品を収録した図録がついに発売

第一〇一回 草月いけばな展
第一会場 美しいだけじゃ困るんだ
第二会場 昨日から学び 今日のためにいけ
明日の表現を求めよ
好評発売中



2019年11月に草月会館とスパイラルガーデンの2会場で開催された草月いけばな展。両会場の全作品を掲載しています。

本体価格：4,400円（税込）
Item No. B8101
サイズ：214×290mm
ページ数：104ページ

お問合わせ･ご注文［ 出版部 ］TEL：0120-087-202　FAX：03-5770-5607　E-mail：shuppan@sogetsu.or.jp

新しい発見

だから、おしゃべりはやめられない 71

勅使河原 茜

コロナウイルスの感染拡大が始まり、早数ヶ月。気づけば今年も半分以上が過ぎてしまいました。感染により亡くなられた方、闘病で苦しまれている方に、改めて心よりお悔やみ、お見舞いを申し上げます。

緊急事態宣言解除後、本部の教室なども万全の対策を取りながら徐々に再開してはいますが、終息したとはとても言えない状況の中、予防と日常生活の両立という難しい舵取りが求められています。しかし、どんな物事にも、なにかしら良い側面は、あるものです。

5月の中旬より、私や本部講師が順番にデモンストレーションのＬＩＶＥ配信（インスタライブ）を行いました。そのほかにも、鉄花器オークションや、座・草月による七夕装飾制作の様子など、今、私たちにできることを積極的に配信してきました。私も自分の出番以外の配信はリアルタイムで観ていましたが、何百人という方が視聴してくださったこと、そして寄せられた温かいコメントの一つひとつに感動しきりでした。特に海外の方からのコメントが多かったことが印象に残っています。直接お会いすることはできなくても、このような方法をとれば全員が同じ方向を見て、心を通わすことができるのだということを再認識しました。

6月にはインスタグラムで、私が皆さんからの質問にお答えする生番組「家元とＨＡＮＡ ＳＯ！ on Instagram」を配信しました。事前に募集した質問にもお答えしつつ、時には当日の視聴者の中から私がランダムに選んだ方に、その場で質問してもらうという形式だったため、始まる前はもうドキドキ。しかし、質問に即興で答えるというのは思いのほか私に向いていたようで、予定時間の1時間があっという間に過ぎていきました。あとからスタッフに「こんなに楽しいんだったら、もう1時間くらいやりたかったな」と話したほどです（笑）。

「家元とHANA SO！ on Instagram」は、草月会館の私の仕事部屋から配信しました。もっと話したかった！（笑）

私はどちらかというと講演会で話すのは苦手。こちらの気持ちを一方的に発信するというのが、あまり好きではないという理由からです。人前でデモをするときも、私はただいけるのではなく、常に観客の方々の表情や反応を見ながら行っています。デモは決して一方的なものではなく、双方向でのコミュニケーションだと考えているからです。今回のようなＬＩＶＥ配信の場合は視聴者のコメントがすぐ見られるので、よりダイレクトに皆さんの反応がこちらに伝わり、とてもやりがいを感じました。

こういったＳＮＳを通じてのＬＩＶＥ配信、あるいはオンラインレッスンは、以前から「いつか実現しなければ」と考えてはいましたが、なかなかきっかけを掴めずにいました。しかし、今回のコロナウイルス感染拡大を機に、はからずも推し進めることになったわけです。中には、いくらこちらが発信しても、「やり方がよくわからない」「スマホの小さい画面で観るのは疲れる」などの理由で、一切ご覧にならない方もいることでしょう。強制するようなものではありませんから、もちろんそれでも構わないと思っています。その一方で、特に若い人の中には、テレビはほとんど観ないで、インスタグラムやYouTubeなどの中から興味のある情報だけ選んで視聴するというスタイルの人も増えているそうです。ということは、たとえば「花が好き。でも、いけばなのことはよく知らない」という人が、なにかの拍子に草月のＬＩＶＥ配信に辿り着き、「いけばなって楽しそう！ 草月って面白そう‼」と興味を持ってくれる可能性も十分にあります。

ここまでの話と矛盾するようですが、やはり直接お会いしてのコミュニケーションに勝るものはありません。できることなら今すぐにでも皆さんのところに駆けつけ、たくさんお話ししたいというのが本音です。しかし、やれることが制限される中、こちらから発信ができ、かつ安全に繋がることができる手段は貴重なもの。せっかく始めたのですから、この先コロナウイルスが終息したとしても、こういったことは継続していくべきだと考えています。これまで数回のいけばなデモンストレーションと、私のトーク等を配信し、ありがたいことに多くの反響をいただきましたが、毎回同じような内容では物足りなくなってしまうかもしれません。やり方はいくらでもありますから、たとえば草月の美術コレクションを解説を交えて紹介するなど、今後もさまざまな楽しいコンテンツを定期的に発信していきます。近々のところでは、今年の８月にオープンする「草月ＷＥＳＴ」からのＬＩＶＥ配信を検討中です。草月の関西での新たな拠点となる場所を、ぜひたくさんの方にご覧いただければと思っています。どうぞ楽しみにお待ちください。

家元と HANASO! On Instagram

6月20日にインスタグラムで配信された家元によるトークライブ。事前にたくさんの質問をいただき、家元は全ての質問の答えを徹夜で考えて用意していました。その一部をご紹介します！

Q：いけばなを仕事にしたいのですが、まず何から始めればいいですか？ いけばな歴9年です。

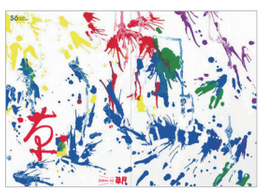
A：まず人の体験談を聞くのがいいのではないでしょうか。人によって、やり方も捉え方も進め方も違うので、自分にはどんな方法が合っているのか、そこで考えることができますから。たくさんの先輩方に聞いてみてください。

Q：（いけばなに通じることでも、通じないことでも）日常生活の中で大切にしていることはなんですか？

A：どんなときも相手の気持ちを考える、読み取ろうとすることです。それは、いけばなにも通じます。植物と向き合い、一緒にいけている人たちとのコミュニケーションも忘れずに。

Q：私も嵐のファンです。嵐をイメージしてお花をいけたことはありますか？

A：花はないですけど、機関誌『草』の表紙で、嵐の5人のカラー5色を使って楽しく表現したことはあります。



Q：自粛期間中は何をしていましたか？

A：すごく時間があったので、草月流家元ではなく、理事長として、たくさんのことを感じ、勉強し、考えていました。
そのほか、ウォーキング、ストレッチをしていました。

家元の答えが
書き込まれたQ&Aメモ。

Q：仕事や子育てに追われる30代のときに心がけていたことや、時間の使い方などを教えていただきたいです。

A：私は恵まれていて、母に預けたりもできましたし、シッターさんにお願いすることもありました。難しいかもしれないけれど、自分の時間を作る努力をしないとその時間はもてないので、我慢せずに気分転換してください。すべて自分だけでやろうとすると苦しくなりますよ。

Q：家元になっていなかったら、どんな職業に就いていましたか？

A：とにかく運転が大好きなので、ダンプの運転手かな。

Q：気がつけば、いつも同じいけ方になってしまいます。どうしたら脱却できますか？

A：分かります。ただ、それを意識しながら、自分なりに変化を求めていけば、いつか違った表現に出会えます。

Q：洋服がいつも素敵だなと思っています。こだわりや、好きなスタイルなどはありますか？

A：自分に合ったシルエットを選びます。少しでもかっこよくみえるように。

Q：with コロナ時代、いけばなの役割も社会に対して変化していきますか？

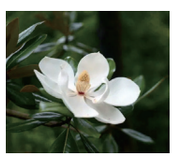
A：今のように人と触れ合うことも難しくなってしまった状況の中こそ、いけばなの役割は大きいでしょう。
花による癒やし、心に響く感動、温かさ……。いけばなで社会、世の中に向かって表現すべきでしょう。

Q：8年習っていますが行き詰まりを感じています。ステップアップするにはどうしたらいいでしょうか？

A：肩の力をぬいて、楽しむことをしてみてください。「何かを成し遂げないといけない」とか「すごい作品をいけなければいけない」とか、考えすぎてはいませんか？ いけばなには正解はありません。1+1=2の世界ではありませんから、自分がやりたいこと、好きなことを思いっきりやってみてください。

Q：好きなお花はなんですか？

A：たいさん木です。原産地は北アメリカ、モクレン科の常緑高木で、花は日本では5〜6月に咲きます。葉は通年で常緑、表と裏の色の違いも特徴です。あまりお稽古で扱う花材ではないですね。花が大きく、つぼみから開いた花まで、それぞれの表情をいかします。香りもとてもよいのですが、花はほぼ1日しかもちません。



コロナに負けない！

第102回草月いけばな展 出品者募集

今こそ、いけばなで感動を

新型コロナウイルスの影響でイベントが中止となっている状況ですが、第102回草月いけばな展を安全に配慮しながら開催することとなりました。

制作も観覧も3密を避け、1ヶ月間9期にわたり、草月会館および青山通り沿いの3ヶ所を会場として展開いたします。

開催コンセプトは、「作品を考えること、制作を止めない！」そして、「花卉業界を応援しよう！」。作品コンセプトは、「空間（場）×いけばな」です。Facebookでの展覧会「おうちでいけばな！」も大きな盛り上がりをみせましたが、伝統ある草月展では、さらに作品を考え抜き、制作を楽しんだ意欲ある作品を募集します。今こそ、いけばなで感動を共有しましょう。

出品詳細は、応募要項をご覧ください。8月6日（木）よりホームページにて説明会の動画を配信します。

皆さまのご参加とご協力を、心よりお願いいたします。

コロナに負けない！❶

クラウドファンディングで花卉業界を応援

コロナの影響は花卉業界にも打撃を与えています。生産者の方々や花屋さんあっての私たち。今、積極的に花を買い、いけることで花卉業界を応援しようという趣旨で、クラウドファンディングを実施します。集まった資金でグロリオーサを購入し、家元が作品を制作。コロナで沈む社会と花卉業界に草月からエールを送ります。

コロナに負けない！❷

全作品をホームページで公開

会場での観覧に加えて、全作品を草月公式ホームページでご覧いただけます。

コロナに負けない！❸

草月展初の長期開催

各期少ない作品数の展示で一ヶ月間9期にわたる〝細く長い〟展覧会となります。安心して制作および観覧ができるよう、態勢を整えてお迎えいたします。

開催概要

［会　場］草月会館1階草月プラザ、2階談話室、会館外（高橋是清翁記念公園・伝統工芸青山スクエア・赤坂区民センター）

［会　期］2020年10月1日（木）～31日（土）
各期3日間、9期制
※会館外は期間が異なります

［資　格］草月指導者連盟会員（2020年度会費完納の方）

［出 品 料］44,000円（1級師範理事～1級師範総務／税込）
33,000円（2級師範常任参与～4級師範／税込）

［作品形態］個人作、合作

［募　集］各期20作程度、詳細は応募要項をご覧ください。

出品説明会（Web）

8月6日（木）より、草月公式ホームページのイベント欄にて配信します。

出品申込方法

応募要項をメンバーズサイトよりダウンロード、または事業課までご請求ください（1都6県の方には同封しています）。申込用紙に必要事項をご記入の上、事業課まで郵送、FAX、メールにてお申込みください。

［申込締切］8月21日（金）17:00必着

※お申込みが集中した場合は、締め切り後に抽選とさせていただきます。

クラウドファンディング企画概要

［プロジェクト名］【花卉業界応援】草月流からいけばなで世界に元気を届けたい！

［使用目的］集まった資金でグロリオーサを購入し、家元に草月会館1階入口に作品を制作していただきます。

［応募方法］1口1000円／1本から何口でも可能です。

［目標金額］2,000本（200万円）

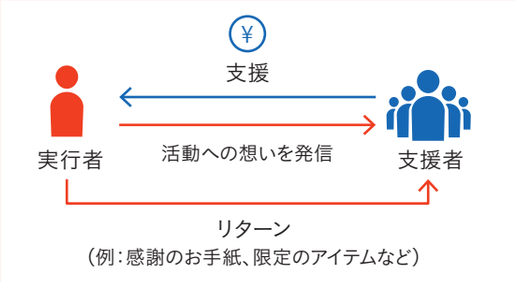
［申込方法］別紙をご覧ください。

※プロジェクトにご参加いただいた方には、ささやかではございますが特典をご用意しています。

※やむを得ない事情で展覧会が中止となった場合も、家元作品は展示いたします。

クラウドファンディングとは？

クラウドファンディングとは、「群衆（クラウド）」と「資金調達（ファンディング）」を組み合わせた造語で、「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する」ことを指しています。



今回、草月展では「MOTION GALLERY」というサイトで支援を呼びかけます。芸術や文化を応援するサイトで、最近では劇団四季が活動資金の支援を呼びかけ、目標金額を達成しました。

いただいた支援は、すべてプロジェクト達成のための費用として使用させていただきます。

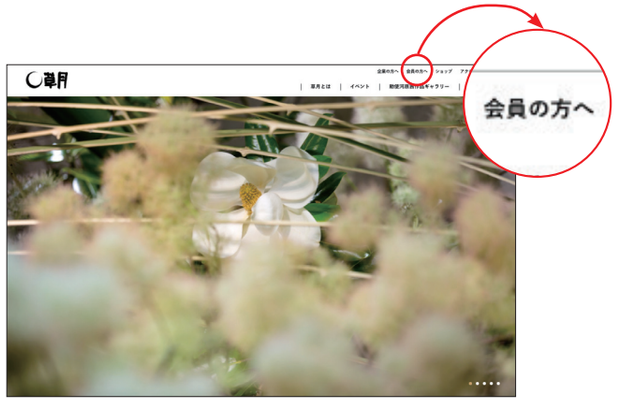
残念ながら目標金額に達しない場合は、資金調達ができない仕組みとなっていますので、皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

←MOTION GALLERYのサイト
「草月」で検索してください。

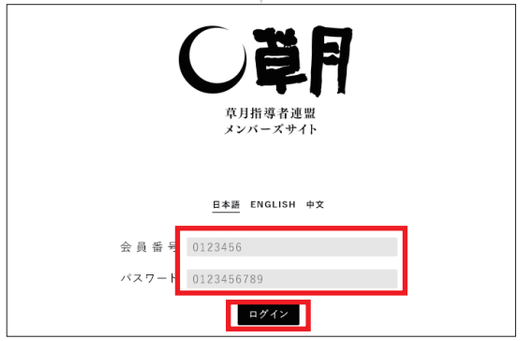
お問合わせ［事業課］
TEL：03-3408-1156　／　FAX：03-3405-4947
E-mail：kikaku@sogetsu.or.jp

草月指導者連盟メンバーズサイトが、オープンしました。

会員の皆さま限定で新しいサービスがご利用いただける「草月指導者連盟メンバーズサイト」がオープンしました。本部よりお送りしている仮パスワード（ログイン情報通知）でメンバーズサイトへアクセスし、自分のパスワードを設定してみましょう。



❶ 草月公式ホームページの「会員の方へ」のページから、メンバーズサイトへ入ります。

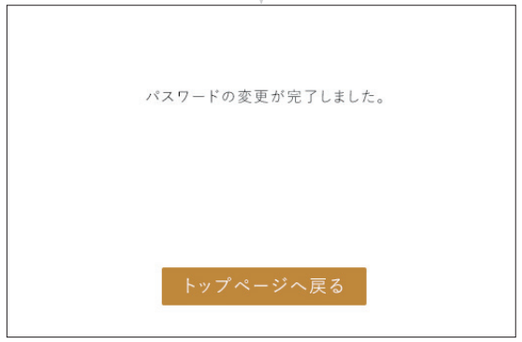


❷「会員番号」と、**郵送された「仮パスワード」**を入力し、「ログイン」ボタンをクリック。

❸ トップページの「会員情報」をクリック。

❹「パスワード変更」の「変更する」をクリック。

❺ セキュリティ強化のため、パスワード変更の手続きを行います。「旧パスワード（郵送された仮パスワード）」と「新パスワード」を入力し、「変更する」をクリックしてください。
新パスワードはご自身で決め、半角英数 10 文字以上のものを入力してください。



❻ 変更完了です。コンテンツをご利用ください。

● ご利用いただけるコンテンツ

登録情報の確認
本部に登録されているご自身の情報が確認できます。

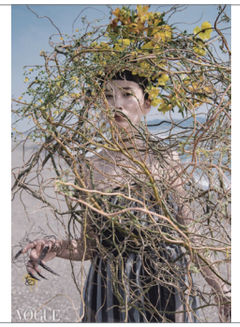
機関誌『草』の閲覧
（262号より閲覧ができます）

お問合わせフォーム
登録情報の変更など、ここからお問合わせいただけます。

お問合わせ　［ 会員サービス部 ］　TEL：03-3408-1120　E-mail：members@sogetsu.or.jp

フォトコンテストに

2019年5月7日
photo VOGUE
大薗彩芳



『VOGUE』誌のweb版に、雲竜柳、アルストロメリア等を使用した、カメラマン・モデルとのコラボ作品が掲載された。

花見食事会

2019年4月19日
福岡／老舗料亭「博多老松」大広間
山口松苑

老舗料亭での食事会で床の間に桜の花を。花見を兼ねた食事会となり、和やかな雰囲気に包まれた。

世界遺産の街・ルーネンバーグにて

2019年6月1日・2日
カナダ／ Lunenburg Public Library
Miyako Ballesteros 虹都

ユネスコ世界遺産に登録され、在住アーティストも多い街で展示会を開催。多数の芸術家にご鑑賞いただいた。

本坊の落慶にいける

2019年5月25日
高知／五台山 竹林寺
井上佐芳・常石春紅・安岡紅豊

２０２４年に開創１３００年を迎えるのを機に本坊の建て替えを行った竹林寺。その落慶法要の空間にいけた。

Doa hoá tâm hồn「心の見える花」

2019年7月28日
ベトナム（ホーチミン）／ MORICO Café
永井裕遙 他1名

人気の和モダンカフェよりご招待いただき、和テイスト愛好者の皆さまに日本文化の体験の場を提供した。

世界に広がる日本文化

2019年7月3日
東京(港区)／港勤労福祉会館
平塚恵春

訪日外国人に、観光・文化等の案内を行う通訳案内士の研修で、いけばなの基本知識を講義。花型や自由花のデモも。

百花 HYAKKA-MANYO 万葉

第70回鎌倉市展華道展

2018年10月20日・21日
神奈川／鎌倉芸術館ギャラリー
草月5名　写真作品：上原瑞光

写真は、井戸の滑車にスモークグラス、にしきぎ、パニカムチョコラータ等を添えて古都鎌倉を表現した作品。

映画で装飾

2018年10月19日
映画『億男』
大谷双香

佐藤健さん、高橋一生さんW主演の映画でいけばな装飾を担当。パーティーシーンの会場を50本の桜で彩った。

春の足音

2019年1月18日～2月6日
JRホテルクレメント徳島（JR側入口）
新田陛嘉 他

大寒と立春を挟む期間に、春の足音を感じさせる作品を。通勤や買物、宿泊客など多くの方にご覧いただいた。

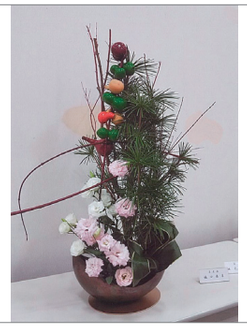
大阪YMCA 2019 正月花

2019年1月5日～8日
大阪YMCA玄関ロビー
林やえ子・栗原冬俊

ＹＭＣＡより竹をいただき、夏みかん等を使用。スタッフの方にも手伝ってもらいながら、広々した会場にいけた。

宮崎県華道協和会70周年記念いけばな会

2019年1月26日・27日
宮崎市民プラザ4階ギャラリー
樋口南草・坂元涛草



提供いただいたひょうたんをいかした作品。ひょうたんのインパクトとトルコききょうのバランスが関心を引いた。

華道に挑戦

2019年1月19日～2月2日
東京(新宿区)／四谷地域センター
指導：草月6名

子どもゆめ基金の助成事業の一環として、子どもたちが華道に挑戦。親子で参加ができ、反響も大きかった。

フェスティばるーん

2019年10月18日
東京／港区立生涯学習センター ばるーん
平嶋英宝 他草月13名

生涯学習センター利用団体による年一度のお祭りの一環として、エントランスホールと廊下に展示した。

作陶展にいける

2019年10月16日〜22日
愛知／松坂屋名古屋店本館8階美術画廊
花田真帆

瀬戸の作家、竹内真吾さんの作陶展に8作品を展示した。写真は竹内さんの作品にいけたもの。

紅の会プチ社中展

2019年10月19日・20日
東京／港区麻布支所 ふれあい祭り
池澤紅陽社中12名

社中で「麻布ふれあいまつり」に参加。秋満載の作品で彩り、お客様をお迎えした。2階ロビーは大作で華やかに。

令和元年度茨城県芸術祭いけばな展

2019年10月18日〜21日
茨城／ザ・ヒロサワ・シティ会館
茨城県支部

合作・個人作あわせて26の作品を出品。草月ならではの多彩な構成に、来場者の注目が集まった。

ショーウインドーを彩る

2019年10月19日・20日
岡山／倉敷本通り商店街
小林青亭・甲怒青修

秋祭りに商店街のショーウインドーを装飾し、お客様をお迎え。色鮮やかなるとじと、珍しい梨の実が好評。

第59回尊徳祭

2019年10月19日・20日
神奈川（小田原市）／尊徳記念館
いちかわれいこう

二宮金次郎が深く関わった郷土の自然の秋の草花や実を使った作品を展示。多くの来館者の共感を得た。

百花 HYAKKA-MANYO 万葉

文化祭にて

2019年9月7日・8日
東京都立八王子東高等学校
指導：山口霧香

今回の文化祭では初めての素材である卵の殻に挑戦。約1年かけて集めて作品のポイントにし、秋の雰囲気に。

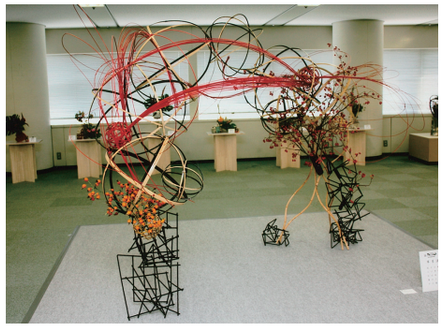
草月流伝統文化親子いけばな教室

2019年9月7日〜2020年1月11日
愛知（名古屋市）／元興寺 瑠璃光ビル
指導：小川紫園

4年目となった文化庁の伝統文化親子教室事業。立真型から始め、行事の自由花へとカリキュラムを組んでいる。

I.I.名古屋支部第53回いけばな展

2019年10月5日・6日
愛知／名古屋国際センター4階 第1・2・3展示室
草月19名



海外の方と友好を深める機会に。体験教室も開催し、海外の方、初体験の方に好評を博した。写真は5名による合作。

オーストラリア・ワイルドフラワーで教室展

2019年9月24日〜30日
大阪／豊中東泉丘郵便局
Flower Basket こうたけ

オーストラリアから輸入された着色ユーカリを使用。日本にはない珍しい花材をいけ、生徒たちの刺激になった。

いけばなインターナショナルムンバイ支部でデモ

2019年10月14日
インド（ムンバイ）／シー プリンセス ホテル
草月4名

いけばなインターナショナル・ムンバイ支部の4名がデモを披露。各々の個性が生きたステージとなった。

ラグビーW杯ファンゾーンで

2019年10月13日・19日
大分いこいの道広場
草月9名

ラグビーW杯期間中、ファンゾーンで草月流の体験教室を2回実施。「エクセレント！」等、喜びの声が寄せられた。

力作揃う

2019年10月26日・27日
千葉（市川市）／行徳公民館
スノーフラワー（主宰：堀江祥雪）

秋晴れの中開催され、地元のサークルの力作が勢揃いした。草月は実ものや紅葉を使った作品やレリーフを展示。

学童保育クラブとハロウィン

2019年10月25日～31日
徳島／川内北第二学童保育クラブ
加藤美草

子どもたちが過ごす学童クラブで、少しでも季節感を楽しんでもらうため、ハロウィンを取り入れた作品を制作。

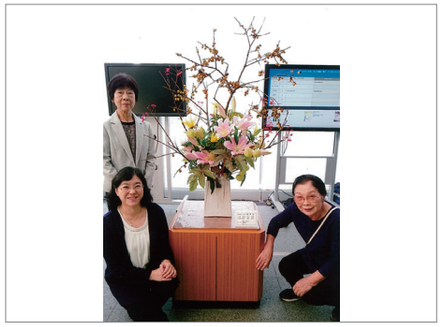
日南市総合文化祭

2019年10月27日～11月4日
宮崎／生涯学習センター まなびピア
平澤沙香社中

市の行事である文化祭に参加。気候の関係で花材に苦労した他、展示期間が長かったため、中盤でいけ替えも行った。

行徳公民館文化祭

2019年10月26日・27日
千葉（市川市）／行徳公民館、行徳文化ホールI&I
上原香峰・川口烁峰 他2名



にしきぎ、豆柿、ななかまど等、秋の花材について、またいけ方について熱心にご質問いただき、展示も好評だった。

第37回文化祭

2019年10月27日
岐阜市東部コミュニティセンター
山室沙白社中

第1回より休むことなく出品している。「きれいですね」と声をかけられ、次回への励みとなった。

マドリッド日本人学校第23回文化祭

2019年10月27日
スペイン／マドリッド日本人学校体育館
指導：矢野愛依

海外で暮らす子たちに日本文化に触れてほしいという思いで実施。いけばなを通じ、自己表現に自信をつけた子も。

百花 HYAKKA-MANYO 万葉

ハロウィンを楽しむ

2019年10月22日～31日
北海道(札幌市)
濱林涼萌

ユニークな形のかぼちゃでハロウィンをいけた。ジャック・オ・ランタンも添え、来客に喜ばれた。

モンゴル首相夫人をお迎えして

2019年10月22日
東京(三鷹市)／高橋邸
北村青葭・吉田知照

天皇陛下即位の礼で来日されたモンゴル首相夫人が、一般の民家を訪れ、着物で、お茶、お花の体験を楽しまれた。

いけばな大阪展

2019年10月24日～29日
大阪／あべのハルカス近鉄本店 近鉄アート館
草月19名　写真作品：岡本青珠

例年大丸心斎橋店で行っていたが、工事中につき近鉄本店で開催。場所が変わり気分新たに。作品にも力が入った。

2019年度特別実習

2019年10月24日
岐阜（多治見市）／セラミックパークMINO茶室
古田静波

NHK大河ドラマ『麒麟がくる』にちなみ、研究生30名に茶道実習を。OBの花器にゆきやなぎ、ほととぎす等をいけた。

第69回岐阜県華道連盟いけ花展

2019年10月25日～30日
岐阜髙島屋
草月18名　写真作品：籠原好茱

12流派が出品。草月の作品の前では、興味深げに見入る方や、感嘆の声をあげる方が多数いらした。

東村山市民文化祭

2019年10月25日～27日
東京／東村山市立中央公民館
高野綵花 他1名

生涯学習活動の成果を披露する文化祭にて。花材名やいけ方など、観客の質問に答えながら公開制作を行った。

ショパンビレッジフェスティバル in 砥部町

2019年11月3日
愛媛／砥部町文化会館
指導：栗林梅光・いい安梅の会

野外イベント広場で、レリーフ、アレンジ花、生花、枯れものでワークショップを実施。多くの人で賑わった。

オリンピックの風

2019年11月3日
大分／佐伯市立鶴谷中学校
指導：佐倉洋佳

毎年文化講座でいけばなを行っている。今回は「オリンピックの風」と題し、男女19名でパフォーマンスを披露。

蔵と現代美術展

2019年11月3日～24日
埼玉（川越市）／旧山崎家別邸
大重由虹 他

地元の美術展に参加。歴史ある蔵造りと現代美術が響き合い、蔵の歴史を鮮明に印象づける美術展となった。

山形県華道文化協会・村山市華道連盟合同いけばな展

2019年11月3日・4日
山形／村山市民会館
草月16名　写真作品：大場仙華

村山市での開催は18年ぶりとなる花展。県内14流派の作品が展示され、山形新聞にも掲載された。

すがも中山道菊まつり

2019年11月6日～14日
東京（豊島区）／眞性寺阿弥陀堂
映花会

菊の香りが漂う堂内中央に割竹を使った軽快な作品を展示。色とりどりの菊、ウィンターベリー等で華やかに。

オープニングイベントに

2019年11月5日
ドイツ／シュツットガルト　アウグスティヌムシアター
田吹涼加

書展のオープニングイベントにて。ライブ音楽と書のパフォーマンスが披露される舞台に、いけばなで彩りを添えた。

百花 HYAKKA-MANYO 万葉

総合食品展示会場に

2019年10月29日～11月30日
愛知／岡崎市竜美丘会館
富安晃苑

総合食品１００社が出展する食品見本市での迎え花の制作。年に2回、30年前から継続している。

第27回名古屋いけばな芸術展

2019年10月29日～11月3日
愛知／名古屋市民ギャラリー栄
草月23名　写真作品：竹口陽苑

名古屋市の市民芸術祭の一環として開催。諸流２４４名が集い、各々の持ち味をいかした作品が並んだ。

徳島県華道連盟創立70周年記念華道展

2019年11月1日～4日
徳島／あわぎんホール
草月22名　写真作品：出村丹雅草・植田綾草・新見公雅

草月からは前・後期合わせて、16の個人作、2つの合作を出品し、22名が参加。4日間で3千名の来場者があった。

第6回恵樹会

2019年10月30日・31日
神奈川（藤沢市）／本鵠沼市民の家
恵樹会

6回目となる展覧会。杉山尚莚先生にご参加・ご指導いただき、充実した内容となった。

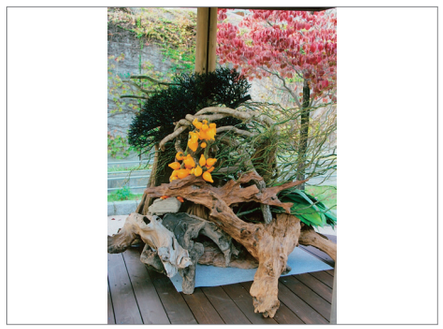
“あかり”をつくろう

2019年11月3日
鳥取／米子市加茂公民館
名越清節 他華道教室生徒8名

公開講座で受講した内容を元に公民館の華道教室でも楽しんだ。心を照らす「あかり」が見る人を温かい気持ちに。

山口文化協会創立50周年記念 山口市民文化祭

2019年11月2日～4日
山口市民会館
山口県支部 山口グループ・山口中央会



変革や革新を意味する「ＢＡＳＡＲＡ」をテーマに、会員5名が小品7品を出品した他、古木を使った力強い合作も。

夏から秋へ

表情が異なる色々な緑で、それぞれの特徴をいかしました。
夏らしい涼やかさと、軽やかな雰囲気を意識して。
Using various greens which have different looks, I made full use of the characteristics of the individual materials.
I paid attention so as to express summer coolness and a light atmosphere.

花材：藤まめ、ういきょう、さんきらい　花器：陶器花器　サイズ：96×122×114cm
Materials: Wisteria, Fennel, China root　Vessel: Ceramic vase

器の形態からシンプルに発想した作品。立派なたにわたりの勢いはそのままに、
しかし重くならないよう、中心に空間をつくりました。
This work was simply inspired by the forms of the vases.
While maintaining the momentum of a bird's-nest fern,
I created a space at the center in order to prevent the work from looking heavy.

花材：たにわたり、けいとう、菊　花器：陶器花器　サイズ：95×23×24cm
Materials: Bird's-nest fern, Cockscomb, Chrysanthemum　Vessel: Ceramic vase

Photo : Chukyo Ozawa

こぶりの御所車と桐で構成した作品です。
桐のつぼみの間からこちらを覗いているような、可憐なコスモスをアクセントに。
This work consists of a small *Goshoguruma* and princess tree.
I used cute cosmos flowers, which seem to look in this way between the buds of princess tree, as an accent.

花材：桐、コスモス　花器：御所車　サイズ：65×53×45cm
Materials: Princess tree, Cosmos　Vessel: *Goshoguruma*

秋の花材をふんだんに使ったまぜざしです。
まぜざしは上に向かうにつれ軽くなるようにいけるもの。すすきの繊細な線を効果的に配しました。
This is the *Maze-zashi* using autumn flower materials abundantly.
The *Maze-zashi* is usually composed so as to be lighter towards the upper.
The delicate lines of eulalia were effectively utilized.

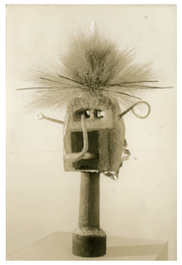
花材：すすき、われもこう、おみなえし、けいとう、りんどう、菊、とらのお　花器：陶器花器（朝倉環）　サイズ：115×60×75cm
Materials: Eulalia, Great burnet, Patrinia scabiosifolia, Cockscomb, Gentian, Chrysanthemum, Speedwell　Vessel: Ceramic vase

勅使河原宏 いけばな作品
蓮
自作陶器鉢
軸：司馬江漢
撮影：藤森武
Ikebana work by
Hiroshi Teshigahara
East Indian lotus
Self-made ceramic vase
Photo: Takeshi Fujimori

勅使河原宏の年表

1949年
欧米の芸術運動やシュルレアリスムに共感し、前衛芸術に傾倒。安部公房を会長とし、多くの芸術家が出入りするアヴァンギャルド集団「世紀」に参加。

1950年
東京美術学校卒業。入学は日本画科だったが、揺れ動く社会と日本画が結びつかず油画科に転科し卒業した。



第27回草月流展に出品した《首》（のちに《お化け》／1951年）

1951年
「世紀」の仲間と雑誌『草月』を創刊。このころ、同世代の重森弘淹らと流派を超えた交流が始まり、いけばなも社会的テーマをもつべきという主張のもと「新世代集団」を結成した。

（次号へつづく）

没後20年企画

勅使河原宏の言葉と花 ③

決断というか、

思い切りがよくないと、植物に引きずり回されます。向こうは相当な表情を持っていますし、刻々とその表情を変えますから。緊張感との勝負のようなものですね、いけばなって。

Project for the 20th Memorial of the Third *Iemoto*

April 2021 will mark the 20th year since the death of the third *Iemoto*, Hiroshi Teshigahara.We will introduce of the "Words of Hiroshi". Let's unravel where his unconventional and unique way of thinking came from.

If you are indecisive, and by that I mean if you cannot make up your mind, plants have you wrapped around their finger.
They have considerable appearances, which are changing every second.
It's kind of a battle against pressure – that's ikebana.

2021年4月に没後20年となる第三代家元・勅使河原宏。草月の大きな遺産である「宏の言葉」をお届けします。常識にとらわれないその発想はどこから来るのか、読み取りましょう。

ありがとう大阪教室

家元研究科
6月23日・24日
大阪家元教室

大阪家元教室にて、家元による最後の授業が行われた。新型コロナウイルスの感染拡大が続いていたが、「生徒の皆さんと一緒に感じ、終わりを迎えたい」という家元の意向から、最後の授業を決行。6月23日・24日で全6回、各回10名ずつの少人数制の授業となった。急遽応募を開始したが即満席に。

最後のテーマは「ありがとう大阪教室」。38年前の開校当初から通う方からは「この窓から見える大好きな景色も見納めですね」との声も。それぞれの思いをこめた、最後の一作が完成した。総評で家元は「出会い、刺激、感動、喜びがここにはあります。父が開校し、造形科にも力を入れ、たくさんの方が学び、宝となって今があります。それを京都の草月WESTにも繋げたい。本当に〝ありがとう〟の気持ちでいっぱいです」と述べた。

【予告】大阪教室を舞台に、家元が作品を制作！ 季刊『草月』秋号（9月1日発売）に掲載されます。

ソーシャルディスタンスを守っての授業。

大阪教室を開校した宏家元へ献杯。

想いよ届け

座・草月「七夕装飾 in SogetsuPLAZA」
6月17日～7月15日
草月プラザ

座・草月による七夕装飾は、制作の様子がインスタグラムで配信された。「宇宙の彼方まで届く、想いのエネルギーを表現しました。会いたい時に会える幸せ、行きたい時に行けるよろこびを、特に今年は感じずにはいられません」と、デザインを担当した座・草月メンバーの伊藤佑飛はコメントした。

香りといけばな

ローズ オードパルファム装飾
6月1日～7月26日
イソップ 青山店、イソップ 東京店

オーストラリア発 のボタニカルスキンケアブランド「イソップ（Aesop）」の店舗にて、新作のフレグランス「ローズ オードパルファム」をイメージしたインスタレーションを本部講師の杉岡宏美さんが制作。特別に育てられた和ばら「シャルロット・ペリアン」が使われており、香りにふさわしい作品となった。

Courtesy of Aesop

草月のフェアが開催中

花と本のある暮らし　草月のいけばな

［会期］7月10日（金）～8月17日（月）
［時間］9:00～23:00 ※営業時間につきましては、ご来店前に蔦屋書店のホームページでご確認ください。
［場所］代官山 蔦屋書店 蔦屋書店 TSUTAYA BOOKS　1号館1階（歴史・日本文化の小部屋内）

季刊『草月』をはじめとする書籍販売のほか、
初めての方でも草月流を楽しんでいただける企画が満載です。

●座・草月による「暮らしを彩るいけばな」
6名の作家が暮らしに寄り添ういけばなを提案します。訪れたお客様に制作の様子も楽しんでいただく試みです。制作中の座・草月に会えるかも？

●先行販売！ 新作オリジナル鉄花器
初心者の方もいけやすいお手頃価格の鉄花器。プレゼントにもぴったり。

●今、読みたい！ この十冊「草月図書館」
季刊『草月』夏号に掲載された、代官山 蔦屋書店 歴史・日本文化コンシェルジュの岩瀬佳乃子さんによる選書もご購入いただけます。

いけばな作品：倉田康治

季刊『草月』最新号のご案内

季節のことば「嵐の後に」
〈勅使河原茜の花〉
夏。緋色の花

〈特集〉
枯れものは美しい
暑さで花もちが悪く、花材も少ない夏。だからこそ、蒼風の言葉を心にとどめ、「枯れもの」と向き合ってみましょう。

〈草月の作家〉
あじさい
百花繚乱　夏

好評連載中
もっと、いけばな！④
「枯れもの・漂白花材ができるまで」
植物に魅せられて「橋下雅也」
家元研究科「同じ形を繰り返す」
花といきる作家たち　田澤凉

季刊『草月』夏号、発売中。
Amazonからも購入ができるようになりました！
定価：1,580円（1,437円+税）

●購読に関するお問合わせ　［草月文化事業株式会社 出版部］ 0120-087-202　FAX：03-5770-5607

本 部 教 室

〒107-8505 東京都港区赤坂 7-2-21　TEL：03-3408-1209　FAX：03-3405-4947　E-mail：kyoshitsu@sogetsu.or.jp

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。
感性と技術を磨く最高の勉強の場です。 AT賞選考対象クラス。

	金	土	月	テーマ	講師
	14 時 /18 時	10 時 /14 時	10 時 /14 時		
9 月	11 日	12 日	7 日	枝ものでいける	家　元
10 月	2 日	3 日	5 日	自信を持って表現を !!	日向洋一

●申込方法：新入会の方は、まずお電話で「家元研究科へご登録」ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。 ●受講料：12,200 円（花材費込み） ※受講日に草指連会員証をご持参ください。 ※ 9 月は花材のお持込みはできません。テキスト「4-3　枝ものでいける」の内容に準じ、枝ものだけを 2 種類以上使って、作品をいけていただきます。

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。
ワンレッスン受講することもできます。

9 月	火曜	8 日	中村草山	15 日	篠崎洵雅	29 日　隅出美泉
	木曜	3 日	加藤久美子	10 日	岡崎　忍	17 日　坂口水恵
10 月	火曜	6 日	隅出美泉	13 日	岡崎　忍	27 日　坂口水恵
	木曜	1 日	加藤久美子	8 日	中村草山	15 日　篠崎洵雅

●原則として 6 日間、第 1・2・3 火曜と木曜　●10 時 /14 時 /18 時（各日 3 回開講）　●入会金：11,000円　●月謝：12,040円（月 3 回分・花材費別）　※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月 3 回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,440円・花材費込み／都度払い）。

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。
いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。 随時受付。

9 月	4 日（金）　岩 渕 幸 霞	10 月	9 日（金）　西 山 光 沙
	18 日（金）　澤 田 晃 映		14 日（水）　澤 田 晃 映
	25 日（金）　西 山 光 沙		30 日（金）　岩 渕 幸 霞

●開催日は 10 月より、水曜 1 回、金曜 2 回となります。　●18 時～20 時 30分　●入会金：11,000円　●月謝:12,040円（月 3 回・花材費別）※家元教室・家元研究科への振替ができます。 ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月 3 回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（6,440円・花材費込み／都度払い）。

インターナショナルクラス

外国の方々を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

9 月	7 日　高 木 水 染	10 月	5 日　細 野 葉 霞
	14 日　石 川 己 青		12 日　坂 口 水 恵
	28 日　福 島 光 加		19 日　福 島 光 加
			26 日　高 木 水 染

●毎週月曜日　●10 時～12 時　●受講料：4,140円／1 回（花材費込み）　※証書申請可能　※祝日は休講となります。

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。開講予定や申込受付等に変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月会ホームページをご確認いただくか、教室運営課までお問合わせください。

公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
9/12（土）	美の旋律・美は躍動する	竹中麗湖	美 ー感性と理性の調和した感情をおこすもの。 理性とは物事の道理を理解し、判断する能力。 いけばな表現でリズム・バランス・ハーモニーなど考え美しい世界を試みる。
10/19（月）	雑木と粘土でつくりましょう！ 立体オブジェ！	大久保雅永	まずは雑木だけで様々な形を形成。 好きな形に粘土を作ったら、雑木にまぶします。 お花を最後のアクセントに。 草月ならではの立体オブジェをつくりましょう！

●授業時間：10 時 30 分～16時　●受講料：12,970 円（花材費・昼食代込み）／入会金なし
●申込資格：草指連会員　●定員：40 名　●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス部窓口でお申込みください。
［郵便振替口座］口座番号：00180-6-119808／加入者名：（一財）草月会 教室運営課
●申込締切：開催日の 1 週間前（ただし定員になり次第締め切ります）　※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。
※お申込み後でも、翌月以降（年度内）に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡の場合、実費（花材費および昼食代）をいただきます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

新規募集　オンライン特別講座

with コロナ時代の今、自宅にいながら参加できるオンライン専用講座を開講します。画面越しに表現するいけばなの可能性を発見！

受講日	テーマ	講師	内容　※全講座、生の植物はご自身でご用意いただきます。
8/28（金）	材料郵送有 生の植物と異質素材で動きを表現する	五十野雅峰	テキスト5-18「動きを表現する」のテーマに、今回は特別に異質素材を加えて挑戦してみましょう。植物と異質素材から生まれる「動き」の面白さ。どんな「動詞」を選ぶのかも大事なポイントになります。 ※講義の後、生の植物と事前にお送りする素材（異質素材）を使って、「動きを表現する」のテーマでいけていただきます。
9/24（木）	「5-3 テーブル花」 または 「5-15 ミニアチュール」 ※いずれかを選択	中村草山	「5-3　テーブル花」 お持ちの食器やテーブルクロス等を活用して、ご自宅のテーブルをコーディネートしていただきます。画面越しからお客様を招待する気持ちで、おもてなしの心を表現しましょう。 「5-15　ミニアチュール」 花器の発見や制作、植物の観察を楽しむテーマです。作品に託した想いを講師とともに共有してみましょう。作品を画面いっぱいに映し出すことができますので、講師の作品やアイデアを存分にお楽しみください。 ※いずれも、作品制作に必要な素材はご自身でご用意いただき、開始時間までに作品を完成させておいてください。
10/3（土）	材料郵送有 和紙・色紙を使って印象深いいけばなを !!	石川己青	作品構成において重要な「色」について考えます。数種類の和紙・色紙による色彩を生の植物に取り入れ、植物だけでは表現しきれない彩りや形を引き出します。色の効果を最大限活かして、画面映えする作品を創りましょう。 ※講義の後、生の植物と事前にお送りする素材を使って、いけていただきます。

●授業時間：14時～（2時間～2時間30分程度）●申込資格：草指連会員　※スマートフォン、タブレット、PCのいずれかをお持ちの方。●各回定員：10名 ●受講料：5,500円　※全講座、生の植物はご自身でご用意いただきます。※8/28（金）と10/3（土）の講座は、指定素材を事前に郵送いたします。そのための材料費・送料として追加費用（1,100～3,300円）を別途頂戴いたします。
●募集：随時受付中。●申込方法：名前・草指連会員番号を明記の上、「オンライン特別講座受講希望」の旨を、教室運営課（kyoshitsu@sogetsu.or.jp）までメールでお知らせください。●お支払い方法：①Pay Pal（クレジットカード）または、②会員サービス部窓口でお支払い、のいずれかの方法で。①をご希望の方：お申込み後にお支払い用フォーマットをメールでお送りいたします。追加費用がある講座の場合は金額をメールに記載いたします。●申込締切:開催日の1週間前（ただし定員になり次第締め切り）※お申込み後のキャンセル・ご返金はいたしかねます。●受講方法: Web会議アプリ「Zoom」を使用します。お申込みの方に、ご受講についての詳細をメールでお送りします。※インターネット環境は、Wi-Fi接続、または有線を推奨します。授業は日本語で行います。

草月 WEST

〒600 - 8842 京都府京都市下京区朱雀堂ノ口町 20-4 ホテルエミオン京都 1 階
TEL : 075-366-3647　FAX : 075-366-3648　E-mail : west@sogetsu.or.jp

家元研究科

講師からはテーマは出ません。受講者自らが考え、自由に植物表現を探究します。
新入会・再入会大歓迎。お得なキャンペーン実施中！

草月 WESTでは家元研究科がリニューアル!!

	金曜	土曜	探究「私の花」	講師
	14時30分/18時30分	10時30分	私はなぜ花をいけるのか？ 私が目指す植物表現とは？ 私が追究したい素材は？ 自由花って何？ 自分がすべきことは何かを受講者自ら考え、草月らしく自由に楽しく新しく、植物表現を探究しましょう。それを積み重ねてゆくことでそれぞれの「私の花」がより輝きます。講師が今の「私の花」を受講者に披露するデモンストレーションもあります!!	
9 月	18 日	19 日		竹中麗湖
10 月	16 日	17 日		家　元
11 月	20 日	21 日		日向洋一

●申込方法：はがき・FAX・E-mail などの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●受講料：家元指導 12,200円（花材費込み）／通常 10,100円（花材費込み）
●授業開始の 20 分前から受付を開始します。

家元教室

毎回2点、テキストのテーマからのデモンストレーションがあり、たっぷり勉強できる充実の2時間。土曜日はオンラインレッスンもあります（4 級師範以上の方）。お得なキャンペーン実施中！

9 月	金曜	11 日　加藤久美子	25 日　五十野雅峰	10 月 2 日　中田和子
	土曜	12 日　〃	26 日　〃	10 月 3 日　〃
10 月	金曜	9 日　石川己青	23 日　中村草山	30 日　片山　健
	土曜	10 日　〃	24 日　〃	31 日　〃

●月 3 回 金曜・土曜　●10 時 30分（土曜のみ）／14 時 30分／18 時 30分（金曜のみ）　●入会金：11,000 円　●月謝：11,000 円（月 3 回・花材費別）　●申込方法：はがき・FAX・E-mail などの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※再入会金無料。 再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月 3 回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可（4,500円 ・ 花材費 1,700円／都度払い）。 ※見学可能。

※本誌262号（P.31）にてお伝えしておりました、家元研究科と家元教室の「草月WEST移転キャンペーン」は、8～10月の実施を予定しておりましたが、コロナウイルス感染拡大対策のため、8～12月に期間を延長いたします。

公開講座

ご希望のクラスを 1 回ごとにお申込みできる魅力ある講座です。
講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
8 月 30 日（日）	いける！造形る？ 変化る!? ――目からウロコ 新たな発見	 平石丹珠萠	新教室で、初心に戻り、基本立真型の盛花からスタートしましょう。花型法を美しくいけられると、造形ること、変化ることができるようになります。次に、テキスト 5-23 のテーマ〈『草月五十則』からの発想〉をいけましょう。きっと新しい発見があるはずです。
10 月 6 日（火）	『宙を構成』 スタイロフォームと植物で 自由な形に挑戦	 前田早苗	草月の特色の一つである、『どこでも』を念頭に、宙空にホバリングしながら変幻自在に姿を変える“造形”に挑戦します。『宙に浮く、不思議な動きの世界』を、自由な心で楽しみましょう！

●授業時間：13 時～16 時　●受講料：4,400 円（花材費別）　●申込方法：はがき・FAX・E-mail などの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●申込締切：開催日の前々週の週末（ただし定員になり次第締め切ります）

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。

草月WESTオリジナルクラス

花の達人への道 ―「基本篇」

2020 年度受講生を募集!!

大好評！　9期目の今期は「草月WEST」へ場を移し、さらに幅広く実践することができるようになりました！
『達人』への道を、様々な“テーマ”からアプローチし、丁寧に楽しく学べる人気のクラスです！
エスコートするのは、片山 健師範と杉岡宏美師範のいつものお二人。
リラックスした雰囲気の中、的確にバックアップします。
日曜日の午後というのも魅力の一つで、リピーターも多いクラスです。
「基本篇」終了後、さらにステップアップできる「応用篇」へも進めます。
もっと知りたいこと、もっと極めたいこと、ちょっと苦手なことに、チャレンジできます！！
思い切って、参加してみませんか？

受講日	講師	テーマ	
10月11日（日）	片山　健	盛花の達人	基本・応用花型の確認と指導法
11月 8日（日）	片山　健	投入の達人	苦手意識をなくそう！ ―投入の徹底研究
12月13日（日）	杉岡宏美	“つるもの”の達人	つるものを主役に クリスマス花や正月花にチャレンジ
2021年 1月24日（日）	杉岡宏美	“留め”の達人	ワイヤー・ドリルを自由自在に オリジナル作品の表現
2月14日（日）	片山　健	椿の達人	万能の花材『椿』　基本から、つぼいけまで
3月14日（日）	片山　健 杉岡宏美	竹の達人	竹のウインドーディスプレイ

今期からすべて“日曜日”開催

片山 健

杉岡宏美

ドリル・工具の使い方
レクチャー

授業風景

●受講者の声

「達人」という言葉に魅かれます！ 憧れと大きな目標。講座は、草月のエッセンスが随所に詰まっていて、今まで自分が取り組んできたいけばなの振り返りと新たな習得、そして、お仲間の作品からの刺激。それらが融合し、とても充実した新鮮な学びの連続だと、感じています。
（熱心なリピーターの N さん）

大作作りには必須なのに、苦手だったインパクトドライバー・ドリル。工具類を使いこなせるようになりたくて、数年前から通っています。
今はもう大丈夫！
出来ることが増えるのは嬉しいです。
花の世界も広がりました。
（毎回、達人目指して奮闘中の Y さん）

● 日時：2020 年10月から全 6 回コース／（原則として）第2日曜日／13 時～16 時　● 受講料：66,000円（花材費込み）
● 受講資格：草指連会員　● 定員：20名（ただし定員になり次第締め切ります）　● 申込締切：9 月 30 日（水）
● 申込方法：窓口またはハガキ・FAX・E -mail で、名前・住所・電話番号・草指連番号を明記の上、草月 WEST までお送りください。

草月WEST新講座

男のいけばな

詳細は直接お問い合わせください！

●受講日：木曜日（月 2 回）　●時間：18：30 ～ 20：30 の時間内に自由に参加

SOGETSU WEST 草月 Exhibition No.1 Living

特別企画展 勅使河原蒼風「花のピカソ」と呼ばれた男

Japan's Picasso of the Flowers

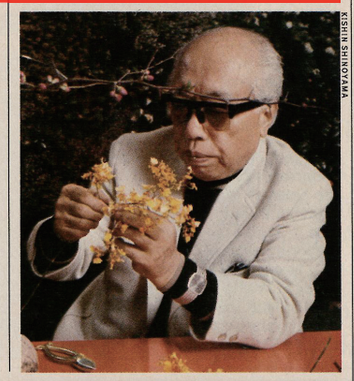
Blue Wind blows new life into an ancient art

"There are many beautiful things," Sofu Teshigahara has written. "The silent beauty of a flower passes them all. Among beautiful things there are said to be silent beauties, too, but none can compare with the silent beauty of a flower." Sofu (the name means Blue Wind) is revered for such views in Japan. He is a beautiful blossom is a [illegible] and, gnome-like Teshigahara, [illegible] Japan's most innovative and [illegible] master of the ancient art of *ikebana*, which bears about the same relation to flower arranging as usually practiced in the West as Rachmaninoff to country music. Within that art, Sofu is commonly referred to as "the Picasso of flowers."

Sofu's Sogetsu (Grass Moon) school not only has a [illegible] following (more than a million dues-paying members) in Japan but has won converts and mounted shows from Moscow to Milan, Manhattan to Paris. There Sofu was made a *chevalier* of the Legion of Honor). Last week in Tokyo he formally opened his school's eleven-story headquarters building, designed by Japanese Architect Kenzo Tange. It overlooks the palace of Crown Prince Akihito, whose family has traditionally been a patron of the flower art.

Ikebana has been entwined in Buddhism almost since the religion was introduced to Japan in the mid-6th century; it started with floral offerings laid at the altars. Sofu has made it a highly popular art and brought it into the age of abstract expressionism. The Grass Moon school has gone back to the simple (but stunning) classic *ikebana* arrangements of a single twig and a dewy blossom arranged in a water vase or a bamboo [illegible]. In containers that may be ceramic sculptures or Chinese wine kegs, Sofu will blend the blooms with shells, stones, iron, leaves, driftwood, dried grass, dead flowers or dyed feathers. Explaining his break with tradition, he once proclaimed: "We should always look forward to a fresh and vivid world and not become buried in retrospection."

Sofu is not so much an iconoclast as a breath of Blue Wind in Japan's traditionally hermetic culture. He is an accom-


KISHIN SHINOYAMA

plished painter, in both Oriental and Oc-styles. His spiny wooden and metal sculptures have been exhibited in [illegible] among his country's [illegible] The *ikebana* that the [illegible] ches and practices [illegible] modern Japanese—and West-[illegible] visual impact is more [illegible] and [illegible] own. When he told his father it represented "an extension of his individualism," Wafu [illegible] school, left home to tourney over [illegible] Hiroshi, an a famed film director. [illegible] series of diplomas, plus earnings from his many books, a monthly magazine and lec-[illegible] er have come anywhere near its present [illegible] Sofu travels in a chauf-[illegible] canvases by Picasso, the Sofu of painting.

2020年
8月11日(火)～16日(日)
10:00～18:00
(最終日17:00まで)
会場:草月WEST
(京都府京都市下京区朱雀堂ノ口町20－4 ホテルエミオン京都1階)
最寄り駅:JR山陰本線(嵯峨野線)
梅小路京都西駅　徒歩2分
入場料:300円(草月会員は無料。受付で会員証をご提示ください)
主催:一般財団法人草月会

米国の『タイム』誌より「花のピカソ」と評された勅使河原蒼風初代家元。いけばなに多大な革新をもたらし、その生涯のすべてを創造活動に捧げた蒼風家元の軌跡と作品を紹介する展覧会を、草月WESTにて開催いたします。草月会員の皆さまは入場無料です。ぜひご来場ください。

会場内で蒼風の作品集『私の花』のヴィンテージ本を特別販売します。

※新型コロナウイルス感染防止のためマスクの着用をお願いいたします。また、3密を避けるため、入場をお待ちいただく場合がございます。何卒ご了承ください。

お問合わせ[草月WEST]　TEL:075-366-3647　FAX:075-366-3648　E-mail:west@sogetsu.or.jp

TIME, JANUARY 30, 1978　51

草月文化活動支援基金へのご協力ありがとうございます

2020年5月～6月に当基金に寄せられた寄付金は、左記の通りです。(掲載は一万円以上、敬称略)

池谷雅放、佐々木青舟、澤紙麻紀、岩崎生翠、草月・アトリエ春　社中一同、山口玉綾、松井玉樟、北海道支部、山口県支部、金田紫星、東京西支部、レッツトライ7期有志一同、山根恵彰

嬉しい受賞

横塚秋霞さん(群馬県桐生市、師範会理事)は、利尻町開基120周年北海道命名150年・上皇上皇后両陛下利尻島行幸啓利尻海藻押し葉作品献上記念『利尻海藻押し葉押し花融合コンクール』において佳作を受賞しました。

訃報

大西和子(翠萠)　師範会理事　二〇二〇年四月　享年八十九歳
佐藤美恵子(緑恵)　師範会理事　二〇二〇年五月二十日　享年九十六歳
藤井マリ子(静紅)　師範会理事　二〇二〇年五月二十一日　享年九十四歳
須江菊恵(恵玉)　師範会理事　二〇二〇年六月三日　享年九十五歳
田中美代子(鈴峰)　師範会理事　二〇二〇年六月七日　享年七十八歳
井出美子(美鳳)　師範会理事　二〇二〇年六月九日　享年七十六歳
内山八重子(花洋)　師範会顧問　二〇二〇年六月十六日　享年九十六歳
齋藤由美子(朱楓)　師範会理事　二〇二〇年六月十八日　享年七十四歳
小西喜久子(路生)　師範会顧問

「新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」のお知らせ

いけばなの教室を開いている、もしくはカルチャーセンターでいけばなを指導しているなど、いけばなをご指導なさることで収入を得られていて、この新型コロナウイルス感染拡大の影響により、いけばな指導による収入が減少された皆さまには、政府(経済産業省)からの『持続化給付金』や、各地方自治体からの『新型コロナウイルス感染拡大防止協力金』を受給できる可能性がございます。次の場合が対象となり、多くの皆さまが該当すると思われます。

●持続化給付金
ある月(例えば5月)の収入が前年同月の半分以下になった

●新型コロナウイルス感染拡大防止協力金
各地方自治体の自粛要請に基づいて、教室を自粛対象期間閉めている。
詳しくは次のホームページや、自治体へお問合わせください。
○経済産業省の『持続化給付金』のホームページ
○お住まいの地方自治体の『新型コロナウイルス感染拡大防止協力金』のホームページ

【お詫びと訂正】

本誌前号に誤りがありました。訂正するとともに、お詫び申し上げます。
○25ページ　花に感謝の日　2019年度各賞受賞者
(誤)金田紫星グループ　森林公園Harmony with Nature 2019〈トゥーランドットⅦ〉→(正)金田紫星グループ　森林公園Harmony with Nature 2019〈トゥーランドットⅫ〉

追悼・富田双康さん

独特のユーモアと力強いメッセージ

草月流本部講師の富田双康さんが、2020年5月12日にご逝去されました。享年94歳。

戦時中、目の前のがれきの中に咲く一輪の花に大きく心打たれ、1949年に初代家元・蒼風のもとへ入門。植物造形にはじまり、石膏、鉄などのさまざまな素材を使い、ストーリーを感じさせるチャーミングな作品を発表しました。また、丁寧な指導で多くの若い世代を育成しました。心よりご冥福をお祈りいたします。

●とみた・そうこう
1949年に初代家元・蒼風に入門。1958年に教室を開設し、東京都庁に勤めながら、いけばな指導にあたっていたが、産経新聞で「お役人いけばな作家」と紹介されたことを機に、いけばな活動に専念する。その後、作家活動のみならず、海外でのデモンストレーションや教室を主宰するなど多方面で活躍。2012年度草月賞をはじめ、数々の賞を受賞。

年間行事予定

8月6日(木)～	第102回草月いけばな展オンライン出品説明会(いけばな草月流公式ホームページにて配信)
8月8日(土)～16日(日)	草月会館夏季休館日
8月11日(火)～16日(日)	特別企画展 勅使河原蒼風「花のピカソ」と呼ばれた男(草月WEST)
9月8日(火)～12日(土)	2019年度草月造形科作品展 陶芸コース(草月会館)　※3月10日(火)～13日(金)より会期が変更になりました
9月9日(水)～29日(火)	草月の秋2020―思いをつむぐ―(玉川髙島屋S･C)　※家元によるフラワークあり
10月1日(木)～31日(土)	第102回草月いけばな展(草月会館他)
沼津御用邸記念公園 50周年記念　問:花プロジェクト部 ☎ 03-3403-5278 10月10日(土) 記念式典　※式典内で家元によるデモンストレーションを行います(沼津市民文化センター) 11月7日(土)･8日(日) 草月×NAKED「一期一会の宇宙」(沼津御用邸記念公園) 11月22日(日) 記念コンサート(出演:東儀秀樹他)　※草月が舞台美術を担当します(沼津市民文化センター)	
10月13日(火)	財団理事会(草月会館／午前11時～)
11月1日(日)～8日(日)	YAMANAKA花回廊 PART16(石川県加賀市山中温泉)
11月3日(火･祝)～15日(日)	松籟の宴(沼津市御用邸記念公園)　11月3日(火･祝) 吉田兄弟野外コンサート

【草月会館土・日・祝日特別開館日】
草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館・草月 WEST ともに休館しております。
9月12日(土)、10月中のすべての土日、11月7日(土)、12月12日(土)
※新型コロナウイルス感染防止の観点から変更となる場合があります。

本部主催支部研究会・講習会

富山県支部	8月30日(日)	講習会　富山県民共生センター サンフォルテ	林青影	☎ 0766-23-9366
香川県支部	10月4日(日)	研究会　高松市生涯学習センター(まなびCAN)	沼田広菜	☎ 0877-25-1060
長崎県支部	10月11日(日)	研究会　晴天時:おのうえの丘／雨天時:ドラゴンプロムナード	鈴木仁葉	☎ 090-7447-7488
福岡県支部	10月17日(土)	研究会　福岡SRPセンタービル 視聴覚室	實渕邦松	☎ 092-671-4088
岩手県支部	11月1日(日)	講習会　盛岡市総合福祉センター	照井昌英	☎ 019-638-3128
鹿児島県支部	11月8日(日)	研究会　宝山ホール	木山智春	☎ 099-259-2354
東京北支部	2021年9月中	研究会　会場未定　※2020年9月13日(日)より変更になりました	加藤湖昌	☎ 03-3996-4238

各地の展覧会

第26回長崎原爆資料館献花～平和への祈り～	8月8日(土)～10日(月･祝)　長崎原爆資料館 パビリオン	鈴木仁葉	☎ 090-7447-7488
草月陶房所属作家ユニット「salulas」参加 今立現代美術紙展 IMADATE ART FIELD 2020	9月12日(土)～30日(水)　越前和紙の里(福井県越前市) ※4月29日(水･祝)～5月10日(日)より会期が変更になりました	草月陶房	☎ 0778-32-2234
武内朋子ソプラノリサイタル(舞台花:モランジュ真紀子)	9月18日(金)　銀座 王子ホール　※要チケット	モランジュ真紀子	☎ 090-5907-0070
いけばな展「ホテルにいける！」4クローバーズ	9月20日(日)～22日(火･祝)　ホテル ブリランテ武蔵野 ※5月3日(日･祝)～5日(火･祝)より会期が変更になりました	佐藤青幹	☎ 080-1350-5113
Sō Team Oita作品展「hana想空間」	10月8日(木)～11日(日)　創造空間kamenos(大分県速見郡日出町) ※4月23日(木)～26日(日)より会期が変更になりました	原露聖	☎ 090-8408-5053
第21回大澤秀紅社中展	10月10日(土)･11日(日)　三島商工会議所TMOホール	大澤秀紅	☎ 090-3305-0995
燿の会いけばな展　15人の燿―つなぐ想い―	10月17日(土)･18日(日)　北日本新聞社ギャラリー	喜多野瑛	☎ 076-423-2615
華･響(はな･ゆら) いけばな&生演奏での癒しの空間展	10月17日(土)･18日(日)　三嶋大社宝物館(静岡県三島市) ギャラリー	長澤玉映	☎ 080-3692-4843
かけ花展(いけばなグループ「ふあり」)	11月5日(木)～10日(火) 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター 5階ブリッジギャラリー	北村青葭	☎ 090-9830-7892
「本部特別技術講師:秋松伸一の講座」 1期生展覧会	2021年2月9日(火)～13日(土)　草月プラザ ※2020年7月2日(木)･3日(金)より会期が変更になりました	教室運営課	☎ 03-3408-1209
生け花のある能「半蔀 立花供養」 (いけばな:横井紅炎)	2021年5月23日(日)午後2時　矢来能楽堂　※要チケット ※2020年5月24日(日)より公演日が変更になりました	横井紅炎	☎ 0466-60-1916

支部展

京都支部展	10月10日(土)･11日(日)　白沙村荘 橋本関雪記念館 ※3月14日(土)･15日(日)より会期が変更になりました	森英琴	☎ 075-601-9209
東京西支部	第24回「よみがえる樹々のいのち」展　10月12日(月)～24日(土)　国営昭和記念公園	久保田芳生	☎ 042-521-1434
香川県支部	11月21日(土)･22日(日)　丸亀町グリーン	沼田広菜	☎ 0877-25-1060

フラワーク

とらや赤坂本店 ※営業時間に変更がある場合がございます お出かけの際は、念のため店舗にお問合わせください	8月	赤坂見附	小野清翠
	9月		酒井洸恵
	10月		森島志鳳
とらや銀座店 ※営業時間に変更がある場合がございます お出かけの際は、念のため店舗にお問合わせください	8月	銀座	中村美梢
	9月		渡辺光樹
	10月		勅使河原明美
ザ･キャピトルホテル東急	常設	杉岡宏美	溜池山王･国会議事堂前
横浜ベイホテル東急(B1階神殿口)	12月下旬まで	深澤隆行	横浜･みなとみらい
群馬フラワーパーク(群馬県前橋市)　9月19日～22日 9月19日(土) 座･草月デモンストレーション　9月20日(日) 群馬県支部いけばな体験レッスン			座･草月 & 群馬県支部
草月会館日本間	8月17日～28日	萩原秋今	青山一丁目
	8月31日～9月12日	石川己青	
	9月14日～25日	蓮覚寺光敬	
	9月28日～10月9日	大塚光川	
	10月12日～24日	中田和子	

※草月会館日本間の展示は、初日の午後より、最終日は午前までです。

不測の事態のため、このページに掲載されているイベントは中止または延期となる場合がございます。お出かけの際は主催者にお問合わせください。今後の情報にもご注意ください。また、本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、広報部までご報告くださいますようお願い申し上げます。 [広報部] TEL:03-3408-1158 ／ FAX:03-3405-4947 ／ E-mail:pr@sogetsu.or.jp

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となったイベント

本部主催のイベント

ご迷惑をおかけいたしますことを心よりお詫び申し上げます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

中止 AKANEフェスタ　8月9日(日)　草月会館
振替を予定しておりましたが中止とし、8月9日(日)は草月会館を休館とさせていただきます。

中止 埼玉県支部研究会　9月6日(日)　埼玉会館 7階会議室　榎本紅萩　☎ 090-4363-1750
中止 群馬県支部講習会　9月13日(日)　群馬会館　津久井香嶺　☎ 027-285-4814
中止 大分県支部講習会　9月27日(日)　アイネス(大分県消費生活･男女共同参画プラザ)　井手史葉　☎ 097-542-5203
中止 栃木県支部研究会　9月27日(日)　宇都宮市文化会館2階展示室　木村爽陽　☎ 028-681-2570
中止 佐賀県支部研究会　10月25日(日)　佐賀市文化会館 イベントホール　佐田富紅輝　☎ 0952-28-0242

その他のイベント

中止	9月20日(日)･21日(月･祝)	千葉県支部展	全日警ホール･葛飾八幡宮
	9月20日(日)～22日(火･祝)	佐賀県支部展	佐賀市歴史民俗館
	10月30日(金)～11月1日(日)	栃木県支部展　※家元出品	大谷資料館

Information

Calendar of Events 2020
●Aug. 8 - 16: Sogetsu HQ closes for summer vacation
●Aug. 11 - 16: Sofu exhibition: Sogetsu WEST
●Oct. 1 - 31: The 102nd Sogetsu Annual Exhibition Sogetsu HQ (domestic members only)
●Dec. 29 - Jan 5: Sogetsu HQ closes for winter vacation
●Jan. 29: *Riji* and *Komon* Promotional Examination, Sogetsu HQ
●Mar. 26: Flower Thanks Day, Sogetsu Hall

<Postponed>
●*Iemoto* Visit to Australia
Rescheduled dates TBA
Enquires: https://www.sogetsu-ikebana.org.au/
Email address: sogetsu.ikebana.nsw@gmail.com
*Schedules above are subject to change.

International Class, *Iemoto* Class and Teachers' Workshop
The class schedule has been partially changed from the original plan and are subject to change according to the circumstances.
Please visit our website to check the latest schedule and information. For *Iemoto* Class and Teachers' Workshop, we limit the number of students in a class to 20 and advance booking is required.
http://www.sogetsu.or.jp/e
Teachers' Workshop is held in Japanese. If you wish to attend this class and require English assistance, please make reservations at least two weeks beforehand.

International Class: 4,140 yen per lesson
Iemoto Class: 5,600 yen per lesson
Teachers' Workshop: 1st lesson of the month 12,200 yen per lesson
2nd and further lessons 6,100 yen per lesson

<Our Measures to be Taken to Prevent COVID-19 from Spreading>
In preventing not only participants but also the management staff from being infected, Sogetsu Foundation will make the best efforts to run and manage all classes safely.
We would be grateful if you cooperate with us and be sure to wear a face mask, wash your hands with soap and gargle before you visit Sogetsu Kaikan.

In order to avoid the "Three Cs" (Closed spaces, Crowded places, and Close- proximity settings), we ventilate the classrooms by opening windows and installing air purifiers, lay out the desks and chairs keeping proper distances, and limit the number of people who are allowed to enter the classrooms.
We also take measures to prevent droplet infection at the reception, disinfect furniture and equipment which is touched regularly. The instructors and their assistants wear a face shield.

Branches/SGs
●Leaflets (English/ Chinese)
The leaflets for 2020 have been available since this April. Each Branch/SG will be entitled to 200 complimentary copies sent by regular airmail on request. Additional copies are available for purchase.
We accept orders from individuals.
Download the order form online:
https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/leaflets
*Due to the current disruption in the international courier service, it may take much longer than usual for the leaflet to get to you. Sorry for the inconvenience caused and thank you for your kind understanding.

●Contact list of the Branches/SGs
We have compiled the contact list of those Branches/SGs from which we received the consent letter about privacy policy.
For the security reason, we will hand in the list only upon request. Please download the request form, fill out the form, then send it back to the HQ by e-mail.
Download the request form online:
https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/forms
We will update the information regularly so please let us know immediately if there is any change regarding your registered information.

If your branch/study group has NOT submitted the consent letter and would like to join the list, please confirm our privacy policy and send the form to the HQ by e-mail.
Download the Privacy policy and consent letter form online:
https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/forms

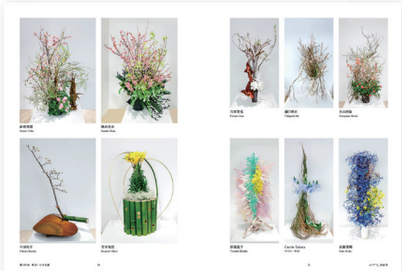
Other information
●Notice for the members in Brazil
As of the 1st of January 2020, Receita Federal (Ministry of Economy) strongly suggests that all mails and parcels sent to Brazil from overseas should write a receiver's CPF (individual tax registration) along with the name.
In order to assure the safer delivery of all documents from the HQ, we request the members living in Brazil to contact Services for Membership Department and inform their CPF.
Contact : members@sogetsu.or.jp
Thank you for your cooperation.

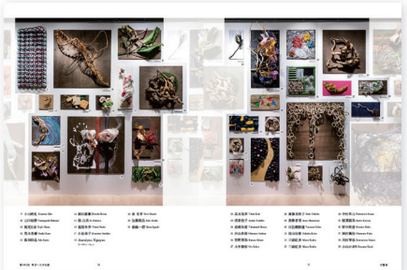
●Important/ Problem regarding E-mail rejection from your mail server
We have had many cases recently that our e-mail to you is rejected by your server then returned to us. We did receive your mail but our return mail to you was rejected. Naturally some of you are already worried about our no response and we received inquiries for which we cannot reply at all. It has caused great inconvenience for both you and the HQ and become an obstacle to our smooth communication.
We are taking various measures to resolve this problem, however, it is very difficult to deal with all cases and will take some time.
Most of the troubles happened when the e-mail domain holds country code after @, such as "de", "au", "ch", "no" and so on.
We would be very grateful if you will kindly provide us an alternative e-mail address with a domain which is simple ".com" style, such as @gmail.com, @outlook.com, @aol.com, @yahoo.com and so on, if you have one.
We would appreciate your understanding and cooperation.
If you have any questions or concerns, please contact Overseas Affairs Department.

Information

on sale

The 100th Sogetsu Annual Exhibition All the Ikebana works





All Ikebana works (781works) shown in full-color.

This book completes all the ikebana works in the 100th Sogetsu Annual Exhibition at Nihombashi Takashimaya Store in Spring 2019.

Export Price 4,500yen
Item No.B8100 / Softcover: 144pages
W/H 214mm×290mm

The 101st Sogetsu Annual Exhibition All the Ikebana works

All Ikebana works (513works) shown in full-color.

This book completes all the ikebana works in the 101st Sogetsu Annual Exhibition at Sogetsu Kaikan & Spiral Garden in Autumn 2019.

Export Price 4,000yen
Item No.B8101 / Softcover: 120pages
W/H 214mm×290mm

One Two Step

Teacher's Guide to Teaching ⑳ Masanaga Okubo

Tips and Advice when Creating Ikebana

You have opportunities to exhibit your works in various kinds of ikebana exhibitions including those organized by the Sogetsu Headquarters, and the ones organized by a teacher with students, joint exhibitions with other ikebana schools, or solo exhibitions. It is important to penetrate the atmosphere of the venue so that you can compose your work to be in harmony with the surroundings. Make the best use of the characteristics of your materials and their colors. Try hard to create works which you will remember for the rest of your life.

About my work exhibited in The 100th Sogetsu Exhibition

It was a half century ago when I exhibited my work in Sogetsu Exhibition for the first time. It was a sculptural objet d'art modeling an armor, using leather. I had the pleasure of being able to exhibit right up to the commemorative 100th Exhibition in 2019. I will keep on doing this as long as I am able. The work is shown below. I thought long and hard to create something highly original. As a result, I decided to make a colorful composition associated with a mystery rainbow in the sky in a square surface framed in square timber, with fresh flowers and tree branches. The colored parts were made by cutting chopsticks short and attaching small clay balls on both ends before coloring. If asked, "Japanese Festival" would be its title.

作品を造る上でのポイントやアドバイス

作品を発表する展覧会には、色々な形式があります。本部の草月いけばな展を始め支部展、社中展、他流との合同展、個展とさまざまです。それぞれの会場の雰囲気をくみとって周囲との調和のとれた作品構成を心掛け、素材の特徴をつかみ色彩にも気を配っていただき、生涯忘れられない傑作を制作してください。

第100回草月いけばな展出品作

初めて草月いけばな展に出品しましたのが、半世紀も前のことでした。素材は革を使った鎧兜を模った彫刻的なオブジェ作品でした。そして草月いけばな展が100回を迎えた記念の時に参加ができたことは嬉しいことです。今後何時まで続けられるかわかりませんが頑張ってゆこうと思っています。作品写真はいろいろと思案して斬新なものにしたいと苦労をいたしました。その結果角材を用いて四角のアングルで平面的な構図に、草花や雑木も使い空に輝く七色の虹のような多彩な作品になりました。中心の色彩の素材は割箸を短く切りその先端に粘土を付け彩色をして完成させました。作品に題名を付けるとしたら"日本の祭り"とでもいたしましょうか。

The 100th Sogetsu Annual Exhibition Work by Masanaga Okubo Materials: Moth orchid, Moth orchid, Miscellaneous tree branches, Square timber, Chopsticks, Clay Vessel: Iron container

Masanaga Okubo

Masanaga Okubo learned ikebana from Sofu Teshigahara, the founder and first *Iemoto* of Sogetsu School, and Gajyu Okubo, his father who was Sofu's right-hand man. Since his first solo exhibition in 1988, he has actively held them and also organized exhibitions of his student group called "Seisei-kai." He has been composing artistic works based on ikebana ideas, and creating his original world of dreams using paper clay, polystyrene foam, and eclectic materials.

大久保雅永

草月流の創始者、勅使河原蒼風と、その右腕的存在だった父・大久保雅充に師事。1988年の初個展開催を皮切りに、個展や主催する青々会の社中展を積極的に開催。いけばなからの発想で造形的な作品を手掛け、紙粘土や発泡スチロールなどあらゆる素材を用いて独創的で夢のある世界を作り上げる。

Sogetsu Textbook 5 Q&A Key word "Materials"

Here are some tips and answers to the questions for studying of the themes.
(The same article in Japanese was in Winter. 2018 edition of "Sogetsu" magazine.)

Composition Using Unconventional Materials (Textbook 5-7)

[Q] What is different in "Using Both Fresh and Unconventional Materials" in Sogetsu Textbook 4-11?

[A] In 4-11, unconventional materials are arranged with fresh plants. The work, therefore, needs to be composed by considering how unconventional materials should be harmonized or contrasted with fresh materials.
In 5-7, however, the work is composed only with non-plant materials, which needs more composition skill as there is no specific starting point like a vase in arranging them. You can use a container as one of the materials of the work.

[Q] Can earth, water, stone, and seashell be regarded as unconventional materials?

[A] Earth, stone, and seashell are included in the category. Water is not the material here, but it can make a composition unique by placing the materials in it, for example. In this sense, water can be used as part of the composition.

[Q] Can we call an arrangement without using plants "ikebana"?

[A] The first *Iemoto* Sofu Teshigahara wrote in his Kadensho, or The Book of Flowers, as follows. "I was once asked what I would do if I lived in a desert where there were no flowers to arrange. I answered that I would arrange the earth." (Omitted) "The main element of ikebana is not the flowers but the spirit of bringing them to life." "The written verb for setting flowers can signify either "creation" or "transformation."
In Sogetsu ikebana, whether using fresh plants or non-plant materials, the composed works are ikebana.

Winter 2018 edition of "Sogetsu" magazine posts the photos of examples of the themes above. The edition is for sale at Sogetsu Shuppan.
E-mail: shuppan@sogetsu.or.jp

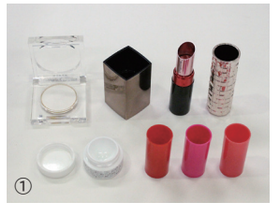
Miniature Ikebana (Textbook 5-15)

[Q] Can a large leaf such as ceriman or barroom plant be used as a base to place the works on?

[A] You had better not do so as the works are not securely placed on it.
The base is an integral element of the composition. Try to find a more suitable one.

[Q] It is not easy to find the containers to be used for miniature ikebana.

[A] The theme aims to "discover" the plant materials and the containers to be used through your own eyes. You may be able to find something new from the familiar everyday commodities. The following are some hints on these.



①

②

③

④

①Lipstick or cosmetic bottle caps have various shapes and can become attractive containers with your original alteration on them.
②Almost all the daily commodities can be purchased at 100-yen shops today. Unusual forms of arranging may be possible by using such daily-use items.
*③"*Oyumaru*" is a plastic piece which is softened by soaking in 80-degree or hotter water. This can be used for creating the containers as you wish. You can buy it online or at Tokyu Hands chain stores.*
④The Sogetsu original serpentine-form containers for miniature ikebana with the ceramic base plate are available for purchase for 5,000 yen (tax inclusive,) while the stocks last.
For more information: Sogetsu Bunkajigyo Co., Ltd.
E-mail: k-keiri@sogetsu.com

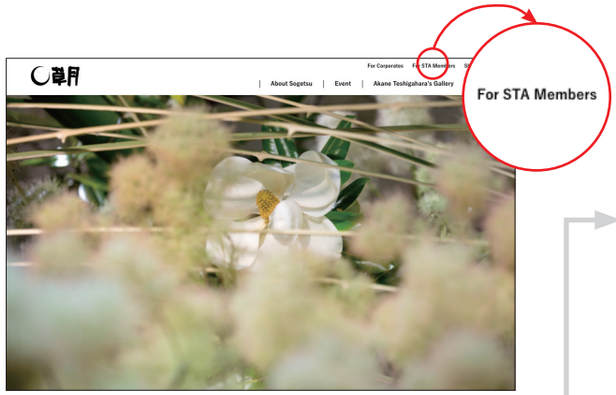
Information

The members' site for the Sogetsu Teachers Association (STA)

The members' site for the Sogetsu Teachers Association (STA) Go Live!

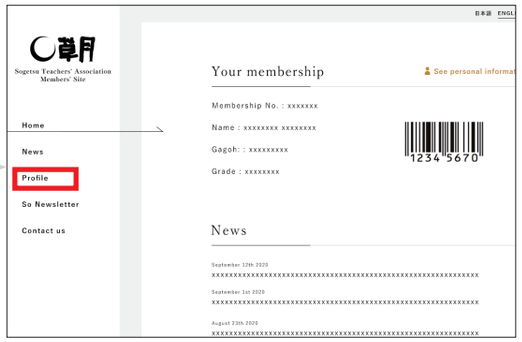
The Members-only site for the STA members opened in late June. You can enjoy easy access to your own profile page and the latest news, in addition to reading the online edition of *So* newsletter regardless of any postal situation.
Please activate your page by log-in with your temporary password sent to you by a notification letter in the post.
*If you haven't received your temporary password yet, please try "Forgot password? ", then follow the steps.)

● How to activate your personal page



❶ Enter the members' site by clicking/touching [For STA Members] on the Sogetsu official website.

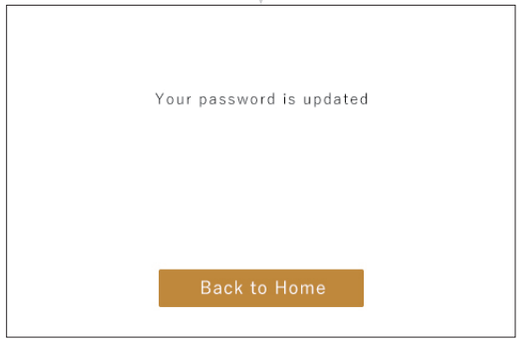
❷ Enter your Membership No. and the Tentative Password that you received from the Headquarters (sent by post) and click/touch [Log In].



❸ Click/Touch [Profile] on the top page.

❹ Click/Touch [Reset] on the Password Reset page.

❺ For enhanced security, reset your password from the tentative one to your own.
Please enter both tentative one and new password into the fields. Password should be at least 10 half-width characters.
Click/Touch [Submit] .

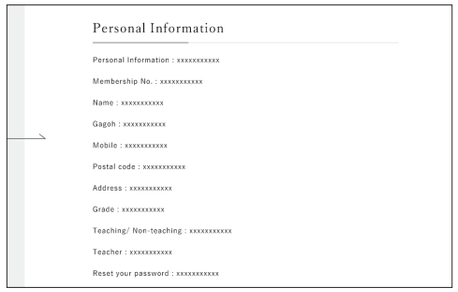


❻ The process is complete.
Please enjoy the content.
Click/Touch [Back to Home].

[Contact]
Overseas Affairs Department,
Sogetsu Foundation

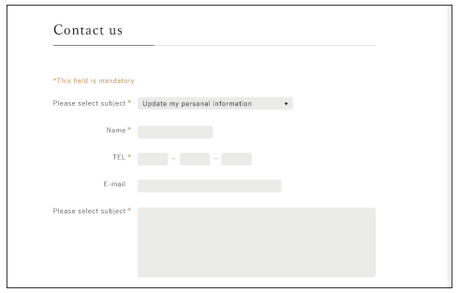
E-mai: overseas@sogetsu.or.jp

● Available contents



Check your registered information
You can check your personal information registered at the Headquarters.
Note: We have applied only alphabetical notation in our system.

Read *So* Newsletters
You can read the *So* Newsletter (from 262th issue, June 2020).



Inquiry form
You can make an inquiry using the form, such as changing your registered information.

Keep Right on Talking! No.71 : Akane Teshigahara

New discovery

Several months have already passed since the COVID-19 pandemic began. Before I realized it, I found more than half of this year has gone. Once again, I send condolences to those whose family members lost their lives due to coronavirus and extend my sympathy to all those who are still under treatment.

After the State of Emergency was lifted in Japan, the classes at the Headquarters have gradually reopened while taking all possible safety measures, but in the conditions where it can hardly be said that the outbreak is under control, we are now in a position that requires difficult maneuvering to maintain a balance between coronavirus and our daily life, though every situation has something good.

From the middle of May, the demonstrations performed by me and other Master Instructors of the Sogetsu Headquarters have been live-streamed on Instagram Live sequentially. In addition, we positively delivered what we could do now – the iron vase auction and a video featuring Za Sogetsu who produced Tanabata (Star Festival) decorations. I also watched these programs, except for my own, in real-time. I was greatly moved by the fact that several hundred people watched them and by each warm comment. I was especially impressed by the many comments from outside Japan. This experience reminded me once again that even if I cannot meet them directly, if we use this kind of method, we can all look in the same direction and communicate our thoughts to one another.

In June, the live program "HANA SO! with the *Iemoto* on Instagram" was aired. The format of this program was such that I answered not only questions prepared in advance, but also those from viewers randomly selected on the day, I was so nervous until it started. However, answering questions impromptu seemed to suit me more than I had expected, and the scheduled one hour passed in the blink of an eye. After the program, I said to my staff, "If I had known this was such fun, I would have done it for one more hour!"

If you asked me whether or not I was comfortable at speaking in front of an audience, I would have to say that I am not. That is because I don't like to say something one-sidedly without any feedback or reaction. Even when I perform my demonstration in front of people, I do not just arrange flowers, but always pay attention to the expressions and responses of the audience. I believe that ikebana demonstration is not one way but bilateral communication. In the case of live-streaming like this time, I could see the comments from the viewers immediately, so their responses came to me more directly, which made it very worthwhile for me.

From long before I had thought that we had to do this kind of live-streaming on social media or online lessons sooner or later, but I could not seem to seize the moment. However, during this COVID-19 emergency we decided to promote these activities as a surprise. Even if we provide these programs, some people may not watch them at all, saying, "I don't know how to watch it" or "Watching the demonstration on a smartphone's small screen makes me tired." This is not what I am forcing you to do, so I don't worry about that. On the other hand, especially among younger generations, increasingly more people do not watch TV and only view Instagram pages or YouTube programs according to their interests. That means there is a sufficient possibility that a person who loves flowers but knows nothing about ikebana reaches Sogetsu's live-streaming and gets interested, saying, "Ikebana seems to be fun! Sogetsu seems to be interesting!!"

"HANA SO! with the Iemoto *on Instagram" was live-streamed from my workroom in the Sogetsu Kaikan. I wish I could talk with the viewers more! (laughs)*

It seems to be contradicting what I said above, but there is nothing better than meeting in person to have direct communication. My honest impulse is to rush to the place where you are and talk to you a lot. However, in the current situation where what we can do is limited, the method that we can send information and safely connect with each other is very precious. Since we started, even if the battle against COVID-19 comes to an end in the future, I think we should continue these activities. So far several ikebana demonstrations and my talk have been distributed, and thankfully we have received a huge response to them. But if the content is similar every time, the viewers may feel dissatisfied. There are many ways to do these, for example, introducing the Sogetsu art collection with explanation. So we can transmit all sorts of enjoyable content from time to time. In the very near future, we are planning to live-stream from Sogetsu WEST in August this year. I hope that everyone will watch the program featuring the new hub for Sogetsu in Kansai (west Japan). Please stay tuned!

A live talk titled "HANA SO! with the Iemoto *on Instagram" was live-streamed on June 20th.*
We received a lot of questions beforehand, and the Iemoto *stayed up all night preparing all the answers.*
Part of the questions and answers are introduced below:

Q: I am planning to teach soon. What would be your advice for the first timer like me?

A: It is important to give instructions to each student in a way suited to their personality by catching their reactions, praising, and letting them feel the pleasure of making arrangements.

Q: Is it okay to learn from 2 teachers at the same time in Sogetsu Ryu?

A: In principle, it is better to learn from one teacher while studying the textbook curriculum.

Q: Dear *Iemoto* Akane! New ikebana, what do you think it is in today's world after 93 years of history.

A: I believe ikebana which can bring about smiles, inspirations, happiness, heart-to-heart communication is needed now more than ever before.

Q: What is the difference between Ikebana arrangement and western flower arrangement ? What is the border between ikebana and western flower arrangement?

A: In the past, the difference was described as ikebana created by subtraction, while flower arrangement was made by addition. After learning the mutual styles of expression, it is getting rather difficult to find the difference today.

Q: How do you get inspirations when you create a big arrangement?

A: I visit the venue beforehand and try to feel the atmosphere there, thinking how the large work can attract viewers' Interest and entertain them.

Q: What are the essentials of Ikebana that you learned from your family.

A: "Flowers become human in ikebana." "Arrange your heart in ikebana works." "Arrange flowers by making full use of one's personality/unique talents."